

同窓

雄飛
*yu-hi*一般社団法人 雄飛会
(福岡工業大学同窓会)会報vol.
30

発行

一般社団法人 雄飛会(福岡工業大学同窓会)／会報編集委員会

〒811-0295 福岡市東区和白東3-30-1

TEL/FAX 092-608-5982

E-mail dousoukai@fit.ac.jp

URL <http://www.fit.ac.jp/dousoukai/>

福岡工業大学 福岡工業大学短期大学部 学長挨拶

学長 村山 理一



会員の皆様におかれましてはご清祥のこととお慶び申し上げます。平日頃、学生への経済的支援などご尽力賜わり感謝申し上げます。

本年度はようやく社会全体がコロナ禍を脱し、コロナ感染症等と向き合いつながりながら通常モードの日常を取り戻すことができた年ではないかと思われまします。本学は、他大学に先んじていち早く通常の学園運営に努めてまいりましたが、やはり社会全体の動きは、より通常モードへのドライブフォーアスとなっております。

本年度の学園の動きとして、社会の多様性を推進する動向に留意して「ダイバーシティ&インクルージョン宣言」を発売しました。女性や他国の学生、教職員が活発に活躍する学園を目指してまいります。また文部科学省が推進する数理・Aデータサイエンスコースで、大学はリテラシーレベルが認定され、来年度は応用レベルを申請する予定です。短期大学部は、リテラシー、応用両コースが同時認定されました。短期大学で両コースが認定されているのは、2023年度時点では本学短期大学部のみとなります。さらに2024年度は「システムマネジメント学科」を改組して、いよいよ数理・Aデータサイエンス教育を全面的に目指した「情報マネジメント学科」が発足します。本学科は国が支援する「デジタル」等の特定成長分野の学部設置等を支援する事業にも認定されておりまします。情報の福工大に恥じない仕組みを、より強固にしていきたいと考えています。

令和5年4月に学長に就任しましたが、おかげさまで母校は同窓会会員の皆様のご支援をいただき順調に発展を遂げています。この流れを途絶えさせぬように新設された二人の副学長と共に理事長はじめ法人の皆様と、これまで以上に情報共有を密にし、教職協働をさらに推し進めていく所存です。このためには、学園と同窓会との強い絆が益々求められます。これからは何卒よろしくご支援を賜りますようお願い申し上げます。末尾ながら、会員皆様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。

同窓会会長挨拶

会長 小柳 辰生 (昭和45年電子工学科卒)



会員の皆様には、日頃から同窓会活動にご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

猛威を振るつたコロナ株も現在は下火となり、母校においても多くの学生で活況を取り戻しております。

さて、同窓会活動の現況について以下報告致します。

①定時社員総会は6月に広島市内において開催しました。活動報告など審議され、全ての議案が決議されました。

また、同窓会の活性化対策やF・T MUSEUMの展示品の維持等の質問は、引き続き検討することになりました。

②「交流会」を総会終了後に実施、大学から山下常務理事、村山学長、三澤法人事務局長を来賓として迎え総勢142名での開催となりました。運営は中国ブロック担当議員の藤本氏を始め、中国・四国ブロック各支部のスタッフの皆様の楽しい企画のおかげで、会場内も大いに盛り上がり、どのテーブルにも久しぶりの出合いに会話も弾み笑いの花が咲きアツという間の2時間半でした。

また、次回「交流会」は4年後に母校で実施予定です。

③検討中の同窓会活性化(案)について

現在の支部活動組織は、関東、東海、関西の広域地域と、その他は県域を単位として制定されました。現在全国に25支部があり、それぞれ地域内の居住者を対象とした自主的な活動が行われています。活発に活動されている支部もありますが、全体的に見ますと活動

は停滞しております。特に現役・若手の参加が少ない状況です。

この状況を打破するために、現在はどの支援も行われていないクラブ活動関係グループ、企業関係グループ、クラス会等地域を越えて行われる「同窓会・懇親会」に対して、規定を改正して支援の輪を広げることで、現役世代の参加を促し、同窓会の活性化につなげることを検討しています。

④「F・T学生サポート寄付金」協力のお願

いについて
今年の初め、卒業生に対し大学から寄付金協力のお願がありました。内容を簡単に申し上げますと、大学では既に修学支援、就職活動支援など多彩な学生サポートが行われていますが、甚大な自然災害等により、学習機会を確保することが難しくなった学生を支援する事や学生の正課・課外活動のサポート体制を充実することを目的としたものです。

同窓会も広報活動などを通して協力しております。OBの皆様、後輩達に愛の手を差し伸べて頂けないでしょうか。

一口、5千円からとなっておりますが、3千円からご寄付頂けますので、御協力よろしくお願い致します。

結びに、同窓会が「OBの皆様の情報交換の場として」の機能を果たし、有益な組織に成長することを願っています。

また、コロナ感染は停滞中ですが、インフルエンザが猛威を振ると予測されています。ご自愛くださいますよう、祈念申し上げます。

令和5年福岡工業大学同窓会交流会を終えて

中国ブロック担当代議員 藤本 正宏(昭和54年電子工学科卒)

同窓会会員の皆様には、ご清祥のこととお慶び申し上げます。

本年6月17日、令和5年福岡工業大学同窓会交流会(第17回)が開催されました。

小柳会長を始めとし、山下常務理事、村山理一学長、三澤礼一郎法人事務局長の御来賓にご出席いただきました。全国からお集りの同窓会会員139名のご出席のもと、厳粛かつ盛大なる記念式典・交流会を挙行でき、成功裏に終了することができましたことは、最大の慶びとなりました。

本会は令和2年の開催予定でした。コロナ禍により3年間の延期期間を経ての開催となりましたが、当日は開式までの間、ウエルカムドリンクのおも

てなして、皆様を優しくお出迎えすることができました。中国ブロック各支部長の皆様ありがとうございました。

交流会は、長年にわたり代議員として在籍いただいた増水紀勝様の功労者表彰、続いて酒都広島ならではの樽酒の鏡開き、乾杯へとプログラムが進みました。歓談時には、3年に及ぶ緊急事態宣言の規制解除により、対面での会話を楽しみ笑顔の花が沢山溢れ、この光景はとても嬉しく印象的でした。

学園歌斉唱では、山之内基様、宮岡英紀様の演舞を披露いただきました。三元「気」をいただいたのではないのでしょうか。ご両名の方に感謝申し上げます。楽しい時間が過ぎるのは早いものです。宴も進み万歳三唱では、四国ブロック

の支部長の皆様に登壇していただき、岩岡一平代議員に発声の音頭を取っていただきました。交流会開催までの諸準備では大変お世話になり、ありがとうございました。

地方で同窓会交流会を開催するのは今回が最後となります。中国・四国ブロックの各支部長をはじめ多くの方々のご協力をいただき、広島で交流会を開催することができましたこと、大変うれしく感謝申し上げます。「会員相互の親睦を図り、母校の発展に寄与する」とする同窓会の目的に沿うべく、努力させていただきたいと思えます。会員の皆様のご教示・ご支援、また本部ならびに全国各地の支部の方々のご協力を切にお願い申し上げます。



社員総会



会場受付



ウエルカムドリンク



役員挨拶



小柳会長挨拶



応援歌演舞



村田元会長挨拶



鏡開き



増水様功労者表彰



万歳三唱



学園歌演舞



鏡開き



村山学長挨拶



山下常務理事挨拶



新サークル紹介

防災サークル

社会環境学部 社会環境学科 2年

部長 川岡 大起

防災サークルには、現在5名の学生が所属しており、防災意識の向上と防災士・気象予報士の資格取得を目指して、週に1回勉強会を開催しています。当サークルの勉強会では、地震・火山災害、気象災害などの各種災害の特徴や発生メカニズム、災害の恐ろしさを学ぶだけでなく、災害への対策や防災情報の受け取り方などにも焦点を当てて学習しています。

私たちが、特に重点を置いて学習していることがあります。それは、一般に考えられているよりも災害は遥かに多様なものであり、それがゆえに災害対策も多様でなければならぬということとです。固定観念にとらわれない、そのときの状況に応じた臨機応変な避難行動をメンバー全員で考えるということも行っています。また、大学内での防災知識の普及を目指して、ポスターやパンフレットの作成にも取り組んでいます。

防災・減災に取り組んでいくには、大学内にとどまらず、地域社会と積極的に関わりあうことが重要です。地球温暖化・気候変動の危機が叫ばれる現代において、全ての人のためにより安全で、より強靱な未来を創造できるように、今後は大学内外を問わず、積極的に啓発活動を取り組んでいきたいと考えています。



映画愛好会

工学部 生命環境化学科 1年

部長 中野 智生

こんにちは映画愛好会部長の中野智生です。映画愛好会は2023年6月16日に設立された愛好会です。いきなりですが皆さんは日々どれくらい映画を見ますか？最近ではAmazonプライムビデオやネットフリックスなどのサブスクで映画に触れる機会がふえ、また数年前までコロナウイルスで自宅にいたことがふえたと思います。しかしこんなことを思ったことはありませんか？「今日どんな映画をみようかな？どの映画が面白いのかな？」と、私もコロナウイルスにより自宅にいたことが増え映画を見ることが増えました。そこで今日何見ようかなと考えた時にYouTubeショートに映画をレビューしているチャンネルを見つけました。その人の映画のレビューをみて面白そうだなと思い見てみるきっかけになりました。この経験から私もレビューをして映画の面白さを広める側に回りたいと思いこのサークルを作りました。なので、この映画愛好会では映画の良さを世の中に広めていきたいと考えています。そのためにX(旧Twitter)やインスタグラムなどSNSを活用し、映画のレビューなどを投稿していこうと思います。まだできて半年の愛好会なので活動があまりできていませんがこれから本格的に映画の良さを福岡工業大学から世界に広めていきたいと思っていますので、温かい目で見守ってくれたらうれしいです。

映画紹介vol.1



原作者 J.K.ローリング
主演ハリーポッター役ダニエル・ラドクリフ

誰もが知っていると思うこのハリーポッターは全8作品で構成されています。階段下に住んでいた主人公ハリーポッターが実は魔法使いで魔法使いの学校ホグワーツ魔法魔術学校へ魔法を学ぶ中でさまざまな困難に巻き込まれる物語です。魔法使いらしい癖がとて面白い映画となっていますぜひ見てください！

<https://music-book.jp/video/title/292017より>

強化クラブ
結果報告

硬式野球部

第52回福岡六大学野球秋季リーグ 4位

ラグビー部

2023年度九州学生ラグビーリーグ 優勝
第60回全国大学ラグビーフットボール選手権大会 3回戦進出
(令和5年11月26日現在)

女子柔道部

2023年度全日本学生柔道優勝大会(女子3人制) 3位

吹奏楽団

第71回全日本吹奏楽コンクール 銀賞

立花祭 実施報告

情報工学部 情報システム工学科 3年

小林 怜平

みなさん、こんにちは。学生自治会会長の小林です。人と人をつなぐという意味で掲げた「結」をテーマに始まった第56回立花祭は沢山の方に会場いただき無事に終わることができました。

新型コロナウイルスによる規制も今年から大きく変わり、例年通りの立花祭の様子が戻ってきたと感じます。前年は8店舗だった屋台も今年は19店舗出店し、昨年以上の賑わいとなりました。

また、11月2日には畑芽育さんのトークショーを行い、11月3日に行われたハリウッドザコシショウさんとマツモトクラブさんのお笑いライブでは800人を優に超えるお客様がFITアリーナに訪れ、過去の立花祭を彷彿とさせるものとなりました。

最後に行われたレーザーショーは立花祭のフィナーレを飾るのにふさわしい盛り上がりとなり、関係者だけでなく、来場していただいたお客様にも楽しんでいただくことができました。

昨年からの経験を活かし多くの役員が意見を交わして全員で作り上げた立花祭は各々反省点こそありましたが、たくさんの方に喜んでいただけたと確信しております。

最後になりますが、今回の立花祭はたくさんの方の力添えがあつて開催でき、学生自治会一同感謝の気持ちでいっぱい입니다。この気持ちを忘れることなく、第56回立花祭に関わったことを誇りに思い、この先も精進していきますのでご指導のほどお願いいたします。

第56回 立花祭



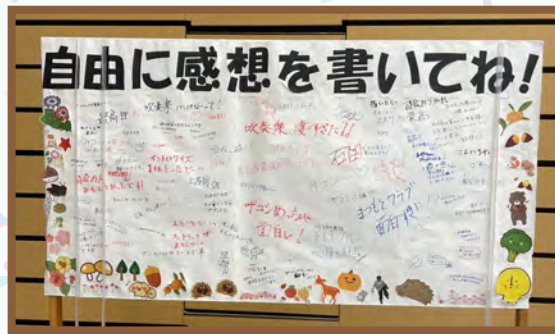
バンドライブgreen



お化け屋敷準備



バンドライブred



FITアリーナ感想ボード



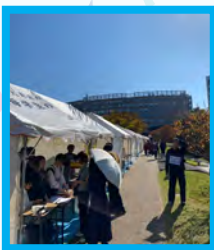
立花祭広場ブース



FITアリーナ企画



立花祭準備



立花祭屋台



立花祭準備



立花祭本番



レーザーショー



立花祭準備

第56回立花祭 FIT MUSEUM開館報告

第56回立花祭が開催され、11月2日、3日の両日FIT MUSEUM(音とモノづくりの歴史資料館)を開館しました。

今回はオープンキャンパスとの同時開催ではありませんでしたので、昨年のような高校生と保護者の来館はあまり多くはありませんでしたが、地元の方や福工生たちで大変賑わいました。3日には「卒業生が集える談話会場」が設けられたことからOBの方々の来館もあり、二日間の来館者は120名以上となりました。来館者からは「昔これに似たものを持っていた。」「父が同じものをもってた。」など往年の品々を懐かしむ声も聞かれ、皆さん感慨深げに展示品をご覧になり楽しいひとときを過ごされました。

FIT MUSEUMの展示機器は「動態保存」をモットーにしており、見学者の方への説明や実演を行った際には、100年以上も前のモノが動くことに驚きの声をあげられていました。また、館長の展示機器についてのユニークな解説、普段耳にすることがない機器にまつわるエピソードなど見学者の好奇心をおおいに掻き立てたのではないのでしょうか。

今年度新たに録音・録画の機器内部を視覚できるコーナーを設け(現在、展示物の充実を図っている最中です。)ましたが、磁気録音機のヘッドや電子基板等普段目にするこのない機器内部をご覧になれます。

FIT MUSEUMが更なる感動の場となるように今後も機器説明等の充実を図ってまいります。皆さんのご来館をお待ちしております。



第56回立花祭 卒業生談話会場を 設置しました

雄飛会(同窓会)では、先般開催された第56回立花祭(11月2日～3日)への卒業生の来場と親睦を目的として、11月3日(金・祝)に「卒業生が集える談話会場」を設置しました。

談話会場には、開学年度からの大学・短期大学の卒業アルバムや雄飛会会報の閲覧コーナーをはじめ、令和6年4月1日開設の新学科や既存学科の研究室紹介など、大学の状況が分かる各種映像も放映しました。

当日は17名の卒業生の方が談話会場に訪れましたが、やはり一番の関心は卒業アルバムのコーナーでした。来場された方々は、ご自分の卒業年度のアルバムから級友を探したり、加入していたサークルの写真を探したり、当時は懐かしんでおられました。中には、卒業後40年近くが経過して、初めて母校を訪れた方もおられ、施設の充実や様々な取組みが高く評価されていることについて、驚嘆しておられました。

今回、初めての試みでしたが、近畿、中国、四国地方の県外からも立花祭にお越しいただき、ご協力いただいたアンケート調査でも高い満足度と共に同窓会のイベントを継続してほしいとお声をいただきました。これからも、このような機会を作りたいと思いますので、是非ご参加ください。



会場全体



卒業アルバム閲覧コーナー



大学紹介ムービー



同窓会資料配布コーナー



大学資料配布コーナー



来場者の様子



来場者の様子



立花祭談話会場チラシ



談話スペース

情報マネジメント学科 開設

2024年4月から情報工学部システムマネジメント学科は、情報マネジメント学科に生まれ変わります。

新学科「情報マネジメント学科」特設サイトはこちら→ https://www.fit.ac.jp/new_dep/

文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」の認定を獲得しました。

令和5年8月、文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(大学:リテラシーレベル、短大:リテラシーレベル・応用基礎レベル)」に認定されました。(認定の有効期限:令和10年3月31日まで) 応用基礎レベルについては、数理・データサイエンス・AIを活用して課題を解決するための実践的な能力を育成するとされており、短大の認定獲得は**全国初**となります。



台湾研修@高雄科技大学



Global_Challenge_Program_1期生



カナダ英語研修@Centennial_Collage

KMITL …キングモンクット工科大学ラカバン校
GSL …グローバルスチューデントラウンジ

本学では現在、世界に「雄飛」する「グローバル人材育成」のために教職協働にて様々な取組を行っています。昨年度、「Global Vision for 2026」として26年度までの達成を目指すビジョンを制定し、①国際適応力を有した人材育成 ②海外協定校の拡大 ③地域のグローバル化への貢献の三つを掲げました。

まずは人材育成に直結する新規プログラム「Global Challenge Program」を昨年度新設し、本学初の4年間一貫支援としました。全額大学負担の支援内容は、国際連携室所属のネイティブ職員による英語レッスンや学科横断の参加者同士でのピア・ラーニングをはじめ、2年次には選抜された10名による、新たに協定校となったハワイ大学マノア校での短期研修が計画されています。

その他の海外研修として、今夏初実施のカナダ協定校での4週間英語研修(学生23名参加)や、タイの協定校KMITLとの短期研修で日系グローバル企業での職業体験や、

台湾協定校の高雄科技大学での課題解決プログラムなど、多様な学生の興味に応じて参加できる研修を用意しています。また学内でも、学園のグローバル化を目的にGSL学生メンバーが活発に活動しています。

ビジョン②の協定校拡大の目的は、学生交流数(派遣・受入)拡大に資する選択肢を増やすと同時に、教員間の連携促進でもあります。昨年度はじめには協定校が8ヶ国18大学であったのが、今年度10月現在12ヶ国・地域に28大学と急拡大を実現しています。協定校・留学派遣先が増えると同時に、本学で学ぶ交換留学生数も増加することで学生の多様性が広がり、学園のグローバル化も進みます。

最後に地域のグローバル化について、現在工学部を中心にグローバルPBL(課題解決型学習)を展開しており、今夏33名が台湾やマレーシア等の協定校に派遣されました。次年度にグローバルPBLを全学展開する中で、地域の国際化に繋がる取組が期待されています。

「国際連携室より」世界に「雄飛」する福工大生の育成のために

「夢 つむぐ、つなぐ、むすぶ。FIT学生サポート寄付金」経過報告

FIT学生サポート寄付金にたくさんのご支援を賜りありがとうございました。令和5年2月～9月末日までに、167件のご応募があり、ご寄付の総額は、2,381千円となりました。引き続き、卒業生の皆さまからの温かいご支援をお待ちしておりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

なお、企業・団体からの寄付金をお考えの場合は、直接経理課にお問い合わせください。

〈お問い合わせ先〉 学校法人福岡工業大学
経営管理部 経理課 092-606-0619

同窓会会員子弟の 受験料免除について

福岡工業大学および福岡工業大学短期大学の同窓会会員（在学生を含む）の子供、兄弟姉妹が本学の入学試験を受験される場合は、**すべての受験料が免除の対象になります。**

免除を希望される方は、インターネット出願の入力画面に従って、同窓会会員の方の情報を入力してください。（卒業年度、卒業学科、続柄等）

■問い合わせ先
福岡工業大学・福岡工業大学短期大学 入試広報課
TEL：092-606-0634(直通) FAX：092-606-7895
e-mail：nyushi@fit.ac.jp

入試区分		受験料
大 学	学校推薦型選抜(専願制・併願制)、 スペシャルスキル選抜、専願制総合型選抜(後期)、 3教科型選抜	30,000円
	共通テスト併用型選抜(社会環境学部のみ)	5,000円*
	共通テスト利用選抜(前期・中期・後期)	15,000円(4学科まで)
短 大	学校推薦型選抜(専願制・併願制)、 自己推薦選抜	25,000円
	一期A・B、二期	25,000円
	共通テスト利用選抜(前期・中期・後期)	10,000円

※但し3教科型選抜(社会環境学部)を受験していること。

同窓会 からのお知らせ

FIT MUSEUM 事業部より

令和5年度 FIT MUSEUM
中間事業報告

令和5年度の新たな取組みとして展示品コーナーの模様替えを行っています。従来の時計コーナーのスペースを縮小し、空いたスペースに新たにCD・DVDプレーヤーやビデオカメラ等の内部部品、電子基板等を展示し、機器の内部を視覚できるようにしています。

「電子機器を構成する主要部品の今昔 コーナー」製品内部の「造りの素晴らしさ」を知っていただけたらとの思いです。

昨年度の入館者数は420名程でしたが、今年度上半期の来館者は既に360名を超えており、行政機関のプログラム等団体見学が増えています。広報については、8月末にテレビ西日本放送(TNC)の「ももち浜ストア」の取材を受け、9月中旬に放送されました。第2回目の取材も11月初旬に行われ、11月中旬に放送されました。

FIT MUSEUMは館長の秀崎先生の指導のもと開館しております。展示物は全て当時の性能を発揮する動作品で充実した内容で見ていただけるかと幸いです。皆様のご来館、お待ちしております。

FIT MUSEUM
福岡工業大学 本部棟1F
TEL：(092)6060695
E-mail：vintage@fit.ac.jp

学生支援部より

学生支援部活動報告
(2023年4月～11月)

昨年度より開始しました「100円朝食キャンペーン」につきまして、学生より大変好評をいただき、今年度は前年に比べて利用者が1.8倍になりました。

また、「課外活動支援」では、全国大会に出場しました軟式野球部・女子柔道部・吹奏楽団・ラグビー部に支援いたしました。「学生修学支援」では学会発表や資格取得などに対する支援活動を令和元年度より行っておりますが、学生からの認知度が徐々に上がっております。

学生に寄り添える支援活動を行うため、支援内容は年々見直しを行っております。次年度に向けて学生支援部一同、頑張る学生のために、より良い支援活動を考えてまいります。

活躍するOB・OG

株式会社関電工 理事 九州支店長

永翁 広志

(平成4年通信工学科卒)



私は平成4年に工学部通信工学科を卒業しました。入学してから夏休みに入る4ヶ月間はほぼ毎日、遠い糸島市(旧糸島郡)から約1時間半の電車通学をまじめにしておりました。その頃は入学して間もなく友達も少なかったからでしょう。夏休み以降は、学校やアルバイトの友人も増え、学業より仲間と一緒に過ごすことを大事にし、週に1度くらいしか学校に行かず(時効ということでお許しください)、行ってもすぐに授業を抜け出し食堂で早飯を食べ、学生ホールで煙草を吹かしながら友達と遊びの事ばかり夢中になり話をしていての思い出です。よく卒業できたとも思い出します。

卒業後は、電気設備業である株式会社関電工に入社し約20年は工事現場にて施工管理の業務に携わり、途中3年間の関東(茨城)勤務は有りました。が、ほぼ九州で勤務し沖縄も含めたくさんの地域で様々な人と触れ合い電気設備業の仕事に魅力を感じ業務に邁進してきました。

その後は現場の経験を活かし営業開発職として福岡で2年、沖縄で7年の営業活動を行ってまいりました。特に沖縄時代では沖縄営業所から支社へ格上げも出来、当初5名足らずだった社員数が、現在では約50名にまで増員することが出来ました。その後自宅がある福岡に戻り現職である九州支店長として3年目を迎えております。

在学生の皆様には、今過している『時間』と一緒に学んだり遊んだりしている『仲間』を大事にし、有意義な学生生活を送って頂きたいと思えます。きっと社会に出たときに役に立つときがきます。

最後に本学卒業生の皆様のご健勝と益々の活躍をお祈り申し上げます。

株式会社明興テクノス 常務取締役

角 浩一

(昭和62年通信工学科卒)



昭和62年3月に通信工学科(通信専攻)を卒業しました。

いまでも福岡大を訪れる機会がありますが、当時はキャンパス内が大きく様変わりし、唯一本館棟が当時の建物になるようです。(おそらく卒業年度に完成したと記憶しています)

入学から2年間で学生寮で過ごし、この寮では今の学生の皆さんでは想像もできない経験をさせていただき、楽しい思い出であると同時に、今の私の基礎になっているとも思います。

また、アイスホッケー部創部にあたり、準備期間を含めサークル活動の4年間という時間を仲間達と過ごした経験は、私のかけがえのないものであり、今でも続く友人関係は何物にも代えがたい宝物です。

現在、私は鹿児島に本社を構える(株)明興テクノスに勤務しています。

明興テクノスはプラント電気設備の施工・受配電盤製作・システム開発・保守を主力とする企業です。主たるお客様は官庁となり、水道・下水道・ダム施設などに技術を提供し、表には出ない会社名ですが、全国のインフラを支えているという自負を持っています。

私自身は、入社以来システム開発に従事し施設監視制御装置のシステム構築をエンジニアとして20年以上担当してまいりましたが、10年ほど前福岡支社に異動となり営業業務に従事しました。現在は本社に戻り経営という新たな分野に取り組んでいます。

文末にはなりますが、本学卒業生並びに在学生の皆様のご健勝と輝かしい未来をご祈念申し上げます。

一般社団法人雄飛会(福岡工業大学同窓会)支部一覧

(令和5年12月現在)

全国に25のブロック・支部が結成され、世代を超えた会員相互の親睦を図る活動をしています。あなたが所属する支部から「支部総会」等の案内が届きましたら、同窓生を誘って世代を超えた出会いの時間を過してください。

本・支部名(ブロック)	本・支部長名(敬称略)	エリア内訳	
北海道支部	有松 義勝(71・通信)	北海道全域	
関東本部	滝石 義礼(76・電気)	茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・山梨県	
東海本部	石田 裕人(79・電子)	長野県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県	
関西本部	大明 孝雄(70・電子)	富山県・石川県・福井県・滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県	
中国ブロック	鳥取県支部	金川 純(77・電気)	鳥取県全域
	島根県支部	澤田 一(74・材料)	島根県全域
	岡山県支部	名合 憲司(81・通信)	岡山県全域
	広島県東支部※	藤井 敏博(74・管理)	福山市・尾道市・三原市・府中市・庄原市・神石郡神石高原町・世羅郡世羅町
	広島県西支部※	藤本 正宏(79・電子)	広島市・東広島市・呉市・廿日市市・三次市・大竹市・竹原市・安芸高田市・江田島市・安芸郡府中町・安芸郡海田町・安芸郡熊野町・安芸郡坂町・豊田郡大崎上島町・山県郡安芸太田町・山県郡北広島町
山口県支部	小畑 太一郎(78・電気)	山口県全域	
四国ブロック	徳島県支部	羽坂 敏弘(75・電子)	徳島県全域
	香川県支部	山地 正博(76・電気)	香川県全域
	愛媛県支部	岩岡 一平(85・材料)	愛媛県全域
	高知県支部	山本 俊平(78・電子)	高知県全域

※広島県東支部、広島県西支部につきましては、令和6年6月開催の社員総会を以って、新たに「広島県支部」として統合予定です。

本・支部名(ブロック)	本・支部長名(敬称略)	エリア内訳
福岡県福岡支部	小口 幸一(71・電子)	福岡市・春日市・太宰府市・大野城市・筑紫野市・糸島市・古賀市・宗像市・福津市・糟屋郡宇美町・糟屋郡粕屋町・糟屋郡篠栗町・糟屋郡志免町・糟屋郡久山町・糟屋郡新宮町・糟屋郡須恵町・那珂川市
福岡県北九州支部	木村 征洋(67・電子)	北九州市・中間市・行橋市・豊前市・遠賀郡芦屋町・遠賀郡岡垣町・遠賀郡遠賀町・遠賀郡水巻町・京都郡刈田町・京都郡みやこ町・築上郡上毛町・築上郡築上町・築上郡吉富町
福岡県筑後支部	西山 友幸(71・電気)	久留米市・小郡市・朝倉市・八女市・大牟田市・柳川市・大川市・筑後市・うきは市・みやま市・朝倉郡筑前町・朝倉郡東峰村・三井郡大刀洗町・三潴郡大木町・八女郡広川町
福岡県筑豊支部	出水 貴之(00・情報)	飯塚市・田川市・直方市・嘉麻市・宮若市・嘉穂郡桂川町・鞍手郡鞍手町・鞍手郡小竹町・田川郡福智町・田川郡糸田町・田川郡大任町・田川郡川崎町・田川郡春香町・田川郡添田町・田川郡赤村
佐賀県支部	牧瀬 玄一郎(69・電子)	佐賀県全域
長崎県支部	古川 隆三郎(79・電子)	長崎県全域
大分県支部	柴田 廣樹(73・通信)	大分県全域
熊本県支部	中本 龍二(76・通信)	熊本県全域
宮崎県支部	猿渡 三喜男(75・機械)	宮崎県全域
鹿児島県支部	児玉 久(81・通信)	鹿児島県全域
沖縄県支部	又吉 盛秀(75・電子)	沖縄県全域

支部活動報告

【大分県支部】夏期研修会報告

大分県支部 支部長 柴田 廣樹(昭和48年通信工学科卒)

令和5年8月27日(日)残暑が厳しい中、「おんせん県」大分にて夏期研修会を、小柳会長、東海ブロック、筑豊、長崎、佐賀、福岡、熊本、山口、愛媛からご参加いただき34名にて開催いたしました。

本研修会は、同窓会の更なる発展、活性化を目的として、大分県支部では年二回支部活動の一環として夏期及び冬期に研修会を実施しています。

今回は、一部構成の研修として、第一部に長崎・佐賀・大分ブロック長である松尾裕幸氏をお招きして「体育会ZEROKからのスタート」を演題に講演していただきました。第二部では、グループ討論会として「同窓会会員を10%増やすには」をテーマに県外支部の方にも参加していただきました。

講演会では、大学創成期の状況を多角的な視点で講話していただき、当時の雰囲気を感じることが出来ました。改めて大学の発展には、先輩達の並々ならぬ努力があったことを再認識し、いつの時代も人と人の絆が大切であり、同窓会の意義に関連していると思えました。

グループ討論会においては、ブレインストーミング方式を採用し、参加者全員から沢山のアイデアを出し合い、現状課題の分析、改善及び新たな運用等を共有することが出来ました。また小柳会長の総評では、今後の同窓会活動の方向性について、ご教示いただき、参加者全員の士気を高めることが出来ました。

研修会後の懇親会では、各支部による活動報告や意見交換を行い、有意義な世間交流を図れました。

最後に大分県支部では、夏期研修会を踏まえ、今後は会員ニーズの把握と在学

生支援を重点的に取り組み、同窓会活動に参加しない、できない会員に対して、SNS等で活動内容を発信し、気軽に情報交換できる環境整備を図り、在学生の同窓会活動の参画推進や地元企業への就職支援等により交流の機会を増やし、各世代の人脈づくりの場を提供できるように支部活動を展開していきたいと考えています。



グループ討論会



乾杯



松尾ブロック長講演



小柳雄飛会会長



秋吉副支部長



三澤法人事務局長挨拶



支部総会



小柳会長挨拶



集合写真



小野原氏表彰



【長崎県支部】総会および長崎・佐賀・大分3県ブロック会報告

長崎県支部 事務長 田浦 裕一郎(平成10年情報工学科卒)

令和5年5月20日(土)、長崎県島原市ホテル南風楼にて令和5年度長崎県支部総会および長崎・佐賀・大分3県ブロック会が開催されました。

総会では、雄飛会会長小柳辰生様をオプザーバーにお迎えし、今年度より新しく支部長に就任した古川隆三郎(79電子1)が議長を務めました。

令和4年度活動・収支・監査報告および令和5年度活動計画・収支予算・新役員選出等の審議が行われ、各議案ともに原案通り可決されました。

3県ブロック会では、長崎県支部古川支部長、佐賀県支部牧瀬玄一郎支部長(69電子1)および大分県支部柴田廣樹支部長(73通信1)からユーモアを交えた活動報告が続ぎ、会場は和やかな雰囲気になりました。

また、長崎県支部を長きにわたり支え

てこられた松尾裕幸前支部長(72機械1)と小野原健輔前事務長(74機械1)に記念品の贈呈が行われ、小野原様よりこれまでの苦労話と会の更なる発展を願う力強いご挨拶を賜りました。

懇親会では、ご来賓の福岡工業大学理事三澤礼一郎様、そして雄飛会会長小柳様よりお祝いのお言葉を頂き、佐賀県支部長牧瀬様の乾杯のご発声のもと宴が開演いたしました。

ステージでは、長崎県支部赤司壽水様(72機械1)によるジャズの演奏が披露され、大いに盛り上がりしました。

当日お越し頂いたご来賓並びに会員の皆様、寄付や御樽を通じてご協力頂いた皆様に改めて深く感謝を申し上げます。また皆様にお会いできる日を楽しみにしております。

決算・予算報告

令和4年度決算 令和4年度収支計算書(R4.4.1~R5.3.31) 単位:円			
収入の部		支出の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
会費	24,140,000	大会費	0
雑収入等	9,208	理事会費	369,183
前年度預り金	△ 8,790	企画・広報費	398,750
当年度預り金	7,590	組織支援費	2,673,560
当年度収入合計	24,148,008	学生支援費	1,562,590
前年度繰越金		FIT Museum事業費	2,783,890
		事務局費	4,609,553
		特別記念事業費	2,400,000
		予備費	0
		当年度支出合計	14,797,526
		次年度繰越金	9,350,482
収入合計	24,148,008	支出合計	24,148,008

令和4年度決算 貸借対照表(R5.3.31現在) 単位:円			
資産の部		繰越金の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
現金	222,845	預り金	7,590
普通預貯金	20,860,900	前期繰越正味財産	81,725,673
定期預貯金	70,000,000	任意積立金	76,027,511
		特別記念事業費積立金	5,698,162
		当期正味財産増減額	9,350,482
合計	91,083,745	合計	91,083,745

期中増減額(R4.4.1~R5.3.31) 単位:円			
区 分	R4.4.1現在	期中の増減	R5.3.31現在
現金・普通預貯金	14,433,263	6,650,482	21,083,745
定期預貯金	67,300,000	2,700,000	70,000,000
合計	81,733,263	9,350,482	91,083,745



令和5年度予算 令和5年度収支予算(R5.4.1~R6.3.31) 単位:円			
収入の部		支出の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
会費	24,100,000	大会費	5,030,000
雑収入等	759,000	理事会費	1,500,000
前年度預り金	△ 7,590	企画・広報費	546,000
当年度預り金	7,590	組織支援費	3,790,000
当年度収入合計	24,859,000	学生支援費	2,900,000
前年度繰越金	91,083,745	FIT Museum事業費	4,121,000
		事務局費	5,021,000
		特別記念事業費	0
		予備費	1,000,000
		当年度支出合計	23,908,000
		次年度繰越金	92,034,745
収入合計	115,942,745	支出合計	115,942,745

令和5年度 代議員一覧 (令和5年6月~)

氏 名	卒年科	役 職	専 門 部	選 出 地 域
小柳 辰生	70 電子	会 長		福 岡 支 部
米倉 和實	70 電子	副 会 長	企画・広報部	福 岡 支 部
本行 義洋	84 通信	事 務 局 長		福 岡 県
桑原 雅浩	83 電気	特 別 顧 問		福 岡 県
田中 睦教	66 電子	理 事	組織支援部	福 岡 支 部
外山 吉幸	71 通信	理 事	財務部長 FITMUSEUM事業部	筑 後 支 部
楠本 徳計	71 通信	理 事	学生支援部	福 岡 支 部
萩田 寛司	72 電子	理 事	組織支援部	福 岡 支 部
齋藤 文親	67 電子	監 事		福 岡 県
松尾 正博	69 電子	監 事		福 岡 県
滝石 義礼	76 電気			関 東 ブ ロ ッ ク
石黒 佳一郎	72 通信			関 東 ブ ロ ッ ク
石田 裕人	79 電子			東 海 ブ ロ ッ ク
大明 孝雄	70 電子			関 西 ブ ロ ッ ク
川谷 伸一	90 機械			関 西 ブ ロ ッ ク
藤本 正宏	79 電子			中 国 ブ ロ ッ ク
岩岡 一平	85 材料			四 国 ブ ロ ッ ク
小口 幸一	71 電子			福 岡 支 部
小柳 礼二郎	74 電子			北 九 州 支 部
出水 貴之	00 情報			筑 豊 支 部
松尾 裕幸	72 機械			長 崎 ・ 佐 賀 ・ 大 分
猿渡 三喜男	75 機械			熊 本 ・ 宮 崎 ・ 鹿 児 島
又吉 盛秀	75 電子			沖 縄 県 支 部
橘 豊文	69 電子			福 岡 県
松尾 一壽	71 電子			福 岡 県
小松 時浩	86 管理		組織支援部	福 岡 県
藤野 和美	92 電気		企画・広報部	福 岡 県
笹原 文仁	07 通信		学生支援部	福 岡 県
矢羽田 誠一	69 短大			福 岡 県
倉光 真紀	92 短大			福 岡 県
百原 武敏	67 電子	相 談 役		

事務局より

1. 募金・名簿などの勧誘について

民間の広告会社より「大学・同窓会の新聞広告を掲載したいので寄付して欲しい」という趣旨の電話による勧誘が行われることがあり、その金額も2万円前後と高額のようです。また、民間の出版社より「福岡工業大学総合名鑑を発行するので、あなたの情報を提供して欲しい」という勧誘も行われているようです。同窓会では寄付や名簿に関する活動などについては、理事会および社員総会の決議を経て責任の所在を明確にして必ず文書でお願いしています。従って、右記のような勧誘に対しては、同窓会本部では何ら関知しておりませんので、ご注意ください。

2. 異動の連絡をお願いします。

交流会案内などが皆様の手元に確実に届くために、正しい住所の把握が必要です。皆様の住所・電話番号・勤務先の変更や改姓などにより異動が生じたときは、同窓会にもご連絡くださると幸いです。異動のご連絡は、同窓会ホームページ(<http://www.fit.ac.jp/dousoukai/>)の「住所変更のページ」から行うことが出来ますが、電子メール・FAX・葉書でも受け付けております。



住所変更フォーム QRコード

3. 会報「雄飛」への情報提供をお願いします。

同窓会事務局では、皆様からの情報をお待ちしております。会員の近況・就職支援情報、会報「雄飛」に関する感想、その他ご質問・ご要望などなんでも結構ですので、ぜひどしお寄せください。

【連絡先】

一般社団法人 雄飛会(福岡工業大学同窓会事務局)
〒811-0295 福岡市東区和白東3-30-1
TEL 092-16008-15982(直通)
FAX 092-16008-15982
e-mail dousoukai@fit.ac.jp

編集後記

今年度は広島での交流会も無事に開催され、FIT MUSEUMも常時開館となりました。コロナウイルス感染症の分類が5類に移行し、学園祭も通常開催されるなど、学生生活もコロナ禍前の状態を取り戻しつつあります。今後も、同窓会活動を活性化していくよう、しっかりと取り組んでまいりますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。